

第7回学校訪問キャラバン（11月27日）を行いました

【新発田市立猿橋中学校を訪問しました】

- ◆ 教育研修コーチング協会・チャイルドラインにいがたの石垣 順子さんから、いじめへの対処の仕方についてのお話をうかがいました。

「人間は自分と違う行動を見ると警戒信号を出し、これがいじめにつながる。違いを受け止めることが大切」
「いじめを行っている人がいじめに快感を覚える状態になると、いじめを止められなくなる。だから、いじめを受けている人は、いじめから逃げることや助けを求めるようにする」等のお話がありました。



- ◆ 新発田市出身の落語家 三笑亭 夢丸さんから、いじめ防止に関して「いじめ被害をなくすよう、いじめに遭ったらすぐに誰かに相談してほしい」等のメッセージを語っていただきました。続いて、「狸の鯉」という落語を演じていただきました。この落語には、子どもにいじめられている狸を助ける場面や、鯉に化けた狸が危うく鯉料理にされそうになる場面が登場し、いじめや命にも関係する内容です。臨場感あふれる軽妙な話に会場全体が引き込まれました。



- ◆ アルビレックスチアリーダーズの皆さんから、猿橋中学校の「いじめ見逃しゼロスクール集会」を応援するチアディングを披露していただきました。

また、「集団演技では我慢することが必要になる。『我慢』は相手への『思いやり』である。マイナスイメージの『我慢』を『思いやり』というプラスイメージに変えて、集団生活をしていってほしい」とのメッセージも語っていただきました。



【県立新発田商業高等学校を訪問しました】



三笑亭 夢丸さんから、いじめ防止へのメッセージをお話していただき、相談窓口カードを渡していただきました。また、石垣 順子さんからいじめの対処の仕方に関してまとめたメモと相談電話カードを、新潟県警察本部少年課の西山 賢一 課長補佐からいじめ防止のチラシを渡していただきました。いじめに遭ったり、悩んだりしたら相談することの大切さを再確認しました。